



大上地区社協ニュースが100号を迎えました 綾瀬市長、綾瀬市社協会長からも祝辞をいただく

大上地区社会福祉協議会（略して大上地区社協）は、平成17年に設立して以来今日までボランティア活動団体として色々と活動して来ました。その活動記録は「大上地区社協ニュース」で皆さんにお伝えして今日に至り、今回100号を迎えました。

そこで100号を記念して綾瀬市長、綾瀬市社協会長から祝辞をいただき、そして大上地区社協の今井会長の挨拶と合わせて発行しました。

祝 辞

綾瀬市長 古 塩 政 由



「大上地区社協ニュース」100号の発行を心からお喜び申し上げます。

地区社協の皆様には、日頃より、地域の中で親睦を図りながら、絆を深め、また、様々な課題に取り組み、地域福祉の向上のために、活発に活動していただいておりますことを深く感謝申し上げます。

この「大上地区社協ニュース」が、様々な活動を紹介することで、地域における声のかけ合いやふれあいが増え、心を通わせることがより一層可能となります。今後とも地域の絆を強め、お互いに信頼しあえるまちづくりの実現に向けて、皆様の力を結集していただきたいと思います。

結びにあたり、貴協議会の御発展と皆様の御健康、御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。

祝 辞

社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会 会長 増 田 譲



大上地区社協ニュース発行が100号を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

大上地区社協は、平成17年6月に発足して以来、「お互いさまのご近所づくり、できる時・できることを・楽しみながら」を合言葉に、お互いが知り合いになり、困ったときに助け合える関係づくりを念頭に活動され、平成22年には「深谷大上ふれあいの家」の指定管理を受け、「火曜喫茶店」事業を中心に多くの地域住民が利用する、地区の拠点を得て発展されてきました。これもひとえに地区社協会員の皆さま方のご尽力の賜物と存じます。

さて、本会では「地区社協を核とした地域福祉活動の展開」を第三次地域福祉活動計画の筆頭に捉え、様々な取り組みを地区社協の皆さまとともに推進してまいりました。これからも更なる充実を図ってまいりたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、大上地区社協のますますのご発展と、皆さま方のご活躍、ご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

挨 拶

大上地区社会福祉協議会 会長 今 井 和 治



大上地区社協は、「お互いさまのご近所づくり、できる時・できる事を・楽しみながら」をモットーに、ふれあいの集いをベースに地域での顔と顔のつながりを作ってまいりました。今では日常会話が生活情報になりつつあります。

すなわち、最近〇〇さん見かけないけど・・・等々 見守りにつながりつつあります。まだ、話し合いの場がないのが実情です。今、考えられるのは、民生委員さんにつなげる、包括支援センターにつなげるなどでしょうが、まだ連携の話し合いが進んでいません。早急の問題点でありましょう。高齢化が進むのは目に見えています。「できる事」を見つけ、やりたいと言う人を集め、支え手として関わってもらいたいと思っています。その為での情報交換・共有をして地域の皆さんと一緒に安心して暮らせるまちづくりをしたいと考えています。

地域の皆様の一層のご参加をお願いいたします。そしてこれからも大上地区社協の発展にご協力をお願いします。